

【2023年度 学生交流委員会 事業計画】

委員長校 : 神戸常盤大学

副委員長校: 神戸学院大学

委員校: 芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西学院大学、聖和短期大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、神戸親和大学、神戸常盤大学短期大学部、頌栄短期大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路大学、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学 計27校

<目的>

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携」の推進に向けて、以下の取組課題について事業推進を行う。

取組課題③「大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進」

・年間を通し各委員校からの提案を協議し、大小問わず、魅力的、そして学生が地元地域への理解を深め、魅力を感じることができるプログラムを予算範囲内で可能な限り実施し、学生交流を活性化させることを目的とする。

上記取組を推進する体制の構築並びに、必要なプロジェクト事業は本委員会にて実施する。

<内容>

取組課題③に対する「個別取組」は、下記の通り。

【取組1】テーマ型の学生交流プロジェクトの実施

他大学や地域・企業との連携・協働によるプログラムへの参加は、学生に大きな教育効果があるとの考えから、大学の枠を超えたテーマを設定した学生交流や活動を促進するプロジェクト全体を「WILL BEプロジェクト」の総称で位置付け、実施する(例: 地元企業・団体等と連携した取組など)。主体性をもって活動に取り組む学生を支援する仕組みを作ることによって学生の成長の場とする。

【取組2】加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施

加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報では、コンソHPへの記事掲載を計画・実施する。掲載文等を考えることで自主性や文章構成力を高めることを目的とする。地域で若者が活躍する姿を周知することにより、地域の活性化のための貢献活動に取り組む。併せてコンソの認知度を高める

また事業の実施体制として、ユニット制での実施を継続して実施する。上記2事業に基づく2ユニットのいずれにも全委員校が参加し、ユニットごとに企画立案から多くの加盟校が主体的に参画することにより、学生交流の実質化に繋げる。

<期待される効果>

他大学の学生との交流、社会人との交流等の場を提供することによる効果は以下の通り。

【取組1】学生が地域・企業との連携・協働を通じた様々な社会貢献活動に、地元企業や自大学以外の学生と一緒に参加することで地域の魅力、または課題を直に感じ、理解を深め、そして解決策を自発的に考える効果が期待できる。

【取組2】参加した学生に様々な交流、広報活動を促すことにより、学生自らが他大学の学生と協働し、企画を実現することで主体性・実行力・発信力が向上する。また学生がメディア等を活用した周知に取り組むことで、自主性や文章構成力を高めることを目的とする。併せてコンソの認知度を高める。

上記2つの取組により、コンソ加盟校の学生において本事業での経験が大学4年間の生活の充実に資する効果が期待できる。

課題③ 大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進		予算額
取組1	WILL BEプロジェクト 「テーマ型の学生交流プロジェクト」	1,010,000円
取組2-1	学生発信ブランディング 「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報」	240,000円
取組2-2	学生発信ブランディング 「大学間連携組織を活用した県民向け防災施策PR動画作成業務」	1,000,000円 * 受託事業収入

【2023年度 学生交流委員会 事業計画(③取組1-1)】

【③取組1】達成目標	各年参加者数50名以上			
【③取組1】活動指標	参加加盟校数10校以上/年			
課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進			
達成目標【③取組1-1】	参加学生数30名以上			
課題を解決する取組概要【③取組1-1】	テーマ型の学生交流プロジェクトの実施 <WILL BE プロジェクト>②地域子育て支援拠点・こどもの居場所でのボランティア等活動			
活動指標【③取組1-1】	参加団体5団体以上。個人参加15名以上。			
内容 (計画)	<p>◆神戸市と大学が連携し、設置している市内の「地域子育て支援拠点」や「こどもの居場所」でのボランティア活動</p> <p><内容> 加盟校が連携して、学生がボランティア活動や地域貢献活動に参加しやすい場、そして学習成果を発表出来る場を提供する。自学のプログラムやフィールドを加盟校の他大学の学生にも開放し、学生間の交流を促進する。</p> <p>【開放施設】 ①ときわんモトロク(中央区・元町六丁目商店街)、 ②ときわんノエスタ・てらこやノエスタ(兵庫区・ノエビスタジアム神戸)、 ③ときわんクニヅカ・てらこや(長田区・アスタくにつか4番館) ※加盟校で拠点を開放いただける大学があれば、随時活動場所を追加し、学生に周知する。</p> <p><開催時期>2023年5月下旬～2024年3月(予定)</p> <p><募集対象>加盟校学生 ※団体・個人問わず</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	1,010,000			※取組1-1、1-2の合計
自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	
■自己評価基準 (対到達目標)	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	■自己評価基準 (対継続性)	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき	
理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)				

【2023年度 学生交流委員会 事業計画(③取組1-2)】

【③取組1】達成目標	各年参加者数50名以上		
【③取組1】活動指標	参加加盟校数10校以上/年		
課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進		
達成目標 【③取組1-2】	参加学生数10名以上		
課題を解決する 取組概要 【③取組1-2】	テーマ型の学生交流プロジェクトの実施 <WILL BE プロジェクト>③「ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト」 (正式名:ナガセケムテックスプレゼンツ 「ヴィクトリーナ姫路・大学コンソーシアムひょうご神戸 スポーツビジネスコンテスト」)		
活動指標 【③取組1-2】	参加学生のチーム活動/月1回以上(活動期間中)		
内容 (計画)	◆「ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト」 地域の活性化に資する人材育成のためのプログラムとして、地域スポーツ振興をテーマに 企画実施する。 <内容> バレーボールVリーグに所属する「ヴィクトリーナ姫路」が抱える事業課題について、 ゼミ単位もしくは大学の垣根を越えて構成した学生プロジェクトチームで、課題解決につながる企画を 立案。ヴィクトリーナ姫路へのプレゼンテーションを経て、その企画を学生が主体となってホームゲー ムで実施し、その効果を検証する。 学生にとっては、大学講義等で学んだことを実践する機会となり、深みのある学びが期待できる。 また、本事業を通じて、社会人として求められるスキルであるマーケティング思考やプロジェクトマネジ メントを習得するきっかけとする。 <活動期間>2023年8月～2024年1月(予定) <募集対象>加盟校学生		
新しい試み等 (事業計画に記載)			
事業収支	収入	支出	備考
	1,010,000		※取組1-1、1-2の合計
自己評価	【対到達目標】		【対継続性】
■自己評価基準 (対到達目標)	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	■自己評価基準 (対継続性)	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)			

【2023年度 学生交流委員会 事業計画(③取組2-1)】

【③取組2】達成目標	情報公開数200取組以上			
【③取組2】活動指標	各加盟校からの情報提供/年1回以上、情報公開数40取組以上/年			
課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進			
達成目標【③取組2-1】	情報公開数200取組以上			
課題を解決する取組概要【③取組2-1】	加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施			
活動指標【③取組2-1】	各加盟校からの情報提供/年1回以上、情報公開数40取組以上/年			
内容 (計画)	<p>◆地域の活性化に関わる加盟校学生の取組事例の紹介 大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに、加盟校の学生が地域の活性化に関わる取組事例を公開する。また必要に応じて、様々なメディア等への告知を検討・計画する。</p> <p><内容> 加盟校からの情報提供をもとに、地域で若者が活躍する姿を周知することにより、加盟校による地域の活性化のための貢献活動に取り組む。</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	240,000			
自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	
■自己評価基準 (対到達目標) 4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	■自己評価基準 (対継続性) 4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき			
理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)				

【2023年度 学生交流委員会 事業計画(③取組2-2)】

【③取組2】達成目標	情報公開数200取組以上			
【③取組2】活動指標	各加盟校からの情報提供/年1回以上、情報公開数40取組以上/年			
課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進			
達成目標【③取組2-2】	参加加盟校数10校以上/年			
課題を解決する取組概要【③取組2-2】	加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施 学生発信ブランディング 「大学間連携組織を活用した県民向け防災施策PR動画作成業務」			
活動指標【③取組2-2】	参加団体1団体以上。個人参加20名以上。			
内容 (計画)	<p>◆県民向け防災施策PR動画作成(受託業務) 近年頻発する豪雨災害などの自然災害や、今後発生するとされている南海トラフ地震への対策や備えについて、学生たちが正しい認識を持つことが、自分や家族、友人の命を守り、被害の軽減につながる。 兵庫県においては、災害時に誰一人取り残さない各種施策を展開しており、今後もより一層の充実を図る必要がある。また、防災に対して難しい印象を持つ若者や学生が近年の災害や兵庫県の防災施策について研究し、みんなが助け合う意識づくりや防災リテラシー向上に繋がるような、学生目線のわかりやすい防災施策PR動画を作成する。 ※主に県庁見学や研修等で来庁の一般県民を対象とし、防災イベント等での上映も想定</p> <p>内容: ①(災害や防災施策の現状について、学生・関係者等へ)ヒアリング調査、企画。 ②シナリオ作成(絵コンテ、ロケハン含む)。 ③動画撮影(出演含む)。 ④編集作業(ナレーション等含む)。 ※ 県庁見学は小学生以上対象のため、小学生から大人まで理解できる内容とすること 兵庫県の防災に関する事業や取り組み内容を含むこと 県内大学生の防災活動調査に内容も含むこと</p> <p>【スケジュール】 5～6月 : 学生募集、調査、企画 6～7月 : シナリオ、絵コンテ作成 7～9月 : ロケハン、撮影 9～11月: 編集 12月 : 成果物納品</p> <p>■参加学生に余裕があれば、撮影風景などをレポートし、コンソHP等で配信。</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	1,000,000			
自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	
■自己評価基準 (対到達目標)	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った		■自己評価基準 (対継続性)	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)				

【2023年度 学生交流委員会 事業計画】

(単位:円)

	予算	各プログラム 予算						委員会 予算		
		取組1		取組2-1		取組2-2				
		WILL BEプロジェクト 「テーマ型の学生交流プロジェクト」		学生発信ブランディング 「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報」		学生発信ブランディング 「大学間連携組織を活用した県民向け防災施策PR動画作成業務」				
		内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額			内訳
収入	会費収入	1,350,000		1,010,000		240,000				100,000
	助成事業収入	0								
	受託事業収入	1,000,000					兵庫県危機管理部委託業務	1,000,000		
	プログラム収入	0								
	雑収入	0								
	戻入金	0								
	計	2,350,000		1,010,000		240,000		1,000,000		100,000
支出	会議費	120,000	交流会・反省会	100,000			会議費	10,000	会議費	10,000
	旅費交通費	830,000	交通費・昼食費	700,000	交通費・昼食費	30,000	交通費・昼食費	90,000	旅費交通費	10,000
	通信運搬費	70,000			通信費	10,000	通信費	50,000	通信費	10,000
	消耗品費	260,000	消耗品	10,000			消耗品	240,000	消耗品	10,000
	新聞図書費	10,000					参考図書	10,000		
	印刷製本費	50,000					チラシ等作成費	50,000		
	光熱水料費	0								
	賃借料	0								
	保険料	0								
	謝金	600,000	講師等謝金	50,000	謝金・原稿料等	200,000	講師等謝金	350,000		
	租税公課	0								
	支払手数料	30,000							振込手数料	30,000
	諸会費	150,000	ブース等出店料	150,000						
	委託費	230,000					製作費等	200,000	各プログラムHPに係る予備費	30,000
	人件費	0								
	接待交際費	0								
	支払支援金	0								
雑費	0									
計	2,350,000		1,010,000		240,000		1,000,000		100,000	

収入－支出	0
-------	---